

平成20年9月29日

サキグロタマツメタの卵囊に関する情報

## 『サキグロの産卵始まる』

水産技術総合センター  
仙台地方振興事務所水産漁港部

本日(29日)、松島湾の福浦島と桂島潮干狩り場で、サキグロタマツメタの卵囊が多数発見されたのでお知らせします。

福浦島の卵囊内はどれもまだ、発生が進んでいない受精卵～桑実胚であることから、ここ数日以内に産み付けられたものと思われます。桂島の卵囊内もほとんどは受精卵～桑実胚でしたが、一部、卵囊内で栄養物を取り込み始める初期幼生まで発生の進んだものもありました。

今後、卵囊1個から数百～数千個の稚貝が孵出し、直後からアサリの稚貝を捕食するようになります。

今後も産卵は続くと思われませんが、**効果を高めるためにはできるだけ早く駆除をするよう努めて下さい。**日中に干潟が干出しない場合でも、胴長を着用すれば駆除できますし、小型の船上からも玉網ですくえますので時機を逸さないよう注意して下さい。



9月29日10時30分 桂島潮干狩り場で採取した卵囊の一部

採取場所	採取数	幼生のステージ(割合%)							孵出済み
		受精卵	桑実胚	前期幼生(殻形成前)		中期幼生(殻形成)		後期幼生(孵出直前)	
				回転開始	摂餌開始	白色	殻着色		
桂島	359個(5人×10分)	0	89	0	11	0	0	0	0
福浦島	158個(3人×10分)	20	80	0	0	0	0	0	0

\* 摂餌開始とは、卵囊内の栄養細胞を捕食することを指します。